

平群

Heguri

≡ 議会だより 5月臨時会

No.236

平成24年6月1日

発行:奈良県平群町議会

第2回臨時会(5月)

就任のあいさつ

議長 山田 仁樹 副議長 高幣 幸生 2

議会構成 / 議決結果 3

奈良県議会改革シンポジウム / 町の話 4



多くの人たちで賑わった「へぐり時代まつり」

就任あいさつ

平成24年第2回臨時会が5月8日に開催され、議会の役員及び各委員会の選任が行われました。
議長には、選挙で山田仁樹議員が選ばれ、副議長は、選挙で高幣幸生議員と森田勝議員が同数になり、くじの結果、高幣幸生議員が選ばれました。
(議会構成、投票結果は別項)

住民の声を原点に 魅力あるまちに



議長 山田 仁樹

新緑の色が増す季節になりました。
皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る5月8日に臨時会が開催され、議会議長の要職に就任させて頂く事になりました。

私自身、その責任の重大さを痛感すると共に、身にあまる光栄にますます身の引き締まる思いです。

さて、議会を取り巻く昨今の情勢として議員の資質向上は勿論、いかにして多くの住民の方々に、議会・行政に興味

を持つて頂けるようにするのか、どのようにして住民の声をより多く反映していくのか等、議会の使命、責務について全国的に見直されています。

平群町議会としても、議会基本条例がすでに制定されたことが到達点でなく、出発点である認識の上、何を実現するのか問われているのだと考えています。

その他、若い世代の定住促進施策に取り組む事も重要であると考えています。

住民の声を原点に、住民全てが誇れ、愛せるまち、若い世代にとっても魅力あるまちとなるよう粉骨砕身、取り組む所存であります。

皆様方のご理解と、ご指導お力添え賜りますようお願い申し上げます就任のご挨拶とさせていただきます。

高齢化社会と若い世代への町づくりを



副議長 高幣 幸生

若葉が薫る今日この頃、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、5月8日の臨時会におきまして2度目の副議長に選任されました。

就任に際し、さらなる議会の公開性を第一義と考え、議長の補佐役として頑張つてまいり所存です。昨今の地方議会は地域分権、地域主権が叫ばれる時代であります。

今後も引き続き議員全員で議会改革への取り組みを進める覚悟です。

さて、町の現状と将来を考えると、これからは他町にない独自性を持つ町づくりを行い魅力のある町になるよう進めていかなければならないと考えます。特に高齢化社会を考えますと、充実した交通環境の整備、また、より子どもの育てやすい環境を構築していく事も大きな課題であり議会も真剣な議論が必要と考えます。

常に住民のお声を原点に、微力ながら住民が誇れる町、若い世代にとっても魅力ある町となるよう、力一杯取り組んでまいります。

皆様方のご理解と、ご指導を賜りますようお願い申し上げます就任のご挨拶とさせていただきます。

議会の構成

議長 山田 仁 樹				副議長 高 幣 幸 生			
名 称		委 員 長	副委員長	委 員			
常任委員会	総務建設委員会	下中 一郎	奥田 幸男	戎井 政弘	山口 昌亮	山田 仁樹	繁田 智子
	文教厚生委員会	植田いずみ	森田 勝	井戸 太郎	高幣 幸生	窪 和子	馬本 隆夫
特別委員会	下水道事業特別委員会	戎井 政弘	窪 和子	山口 昌亮	高幣 幸生	下中 一郎	馬本 隆夫
	駅周辺整備事業特別委員会	奥田 幸男	戎井 政弘	井戸 太郎	森田 勝	山口 昌亮	山田 仁樹
	財政検討特別委員会	繁田 智子	馬本 隆夫	奥田 幸男	植田いずみ	高幣 幸生	山田 仁樹
	議会改革特別委員会	窪 和子	繁田 智子	井戸 太郎	奥田 幸男	植田いずみ	高幣 幸生
	公共交通対策特別委員会	森田 勝	下中 一郎	戎井 政弘	植田いずみ	山田 仁樹	馬本 隆夫
議会運営委員会		山口 昌亮	井戸 太郎	森田 勝	窪 和子	下中 一郎	繁田 智子
議会だより編集委員会		山口 昌亮	井戸 太郎	森田 勝	窪 和子	下中 一郎	繁田 智子

成 立 し た 議 案

専決処分の承認を求めることについて
平成23年度平群町一般会計補正予算(第6号)について

北小学校体育館の耐震補強事業に伴う地方債の発行対象経費が670万円増額になることから、地方債を増額して、減額になる一般財源を財政調整基金に積み立てるものです。

平成24年度平群町水道事業会計補正予算(第1号)について

軽ダンプの自動車リース料(限度額155万円)、土木積算システム料(限度額490万円)の債務負担行為について、その間(平成29年度まで)の限度額を定めるものです。

議長選挙投票結果				副議長選挙投票結果			
当選 山田 仁樹	有効投票	12票	投票総数	12票	得票数が同数のためくじ引き	有効投票	12票
	下中 一郎	5票	山田 仁樹	7票		投票総数	12票
当選 高幣 幸生	有効投票	12票	投票総数	12票	得票数が同数のためくじ引き	有効投票	12票
	高幣 幸生	6票	森田 勝	6票		投票総数	12票

第2回臨時会（5月8日）議決結果賛否一覧 ○は賛成

議 案 名	議決結果	井戸 太郎	戎井 政弘	奥田 幸男	森田 勝	植田いずみ	山口 昌亮	高幣 幸生	窪 和子	山田 仁樹	繁田 智子	馬本 隆夫	下中 一郎
専決処分の承認を求めることについて（平成23年度平群町一般会計補正予算の(第6号)について）	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません
平成24年度平群町水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

町の話 題



元山上千光寺 戸開式(とあけしき)

『平群町史』(昭和51年発行)の口絵でも紹介されている鳴川千光寺の戸開式は毎年4月の第一土曜日に行われます(戸閉式は10月の第一土曜日)。

鳴川千光寺は役行者が根本道場とした大峰山系の山上ヶ嶽の前に荒行に励んだことで「元山上」と呼ばれ、役行者の母が修行したことから「女人山上」と称され栄えました。

戸開式は、本坊で鍵渡式(写真)のあと、人馬で行者堂へのぼって扉を開け、法弓、法剣、法斧で行者堂前の場所を清め、柴燈大護摩を焚いて祈祷という順序です。堺市と大阪市に8つある阪堺役講の代表者で行われます。お祭りのお世話は地元鳴川の人たちで、受付のほか、うどんや弁当の振る舞いの手伝いもされます。

戸開式の始まりは定かではなく、大峰信仰が広がった元禄(17世紀末期)の頃から盛んになったそうです。参詣人は毎年400~500人とのこと。

千光寺ではこのほか、一般参加もできる『滝祭り火渡り修行』が毎年8月の第一日曜日に行われています。



山田新議長と新編集委員メンバー

本町議会では、「議会基本条例」を制定するなど、開かれた議会を目指しています。
皆さんのご意見も紙面に反映したいと考えています。
よろしく願いたします。

山口 記

奈良県議会改革シンポジウム開催

住民によく見える

議会の実現を

地方議会のあり方について考える「奈良県議会改革シンポジウム」(奈良県議会主催)が、4月27日に県社会福祉総合センターで県・市町村議会議員、議会事務局職員の参加により開催されました。

まず、廣瀬克哉法政大学法学部教授から、「どんな議会をめざすべきか」の題で基調講演が行なわれました。

続くパネルディスカッションでは、議会基本条例を制定している、三重県議会、天理市議会、平群町議会、奈良県議会の取り組みが報告されました。

本町議会から、下中一郎議長

(当時)が議会基本条例制定に向けての取り組みや、議会だよりへの一般質問の掲載や議員の議案に対する賛否の公表、議会報告会、議会懇談会など議会改革の取り組みについて報告されました。

今後、私たち平群町議会においても、住民によく見える議会の実現、住民への情報発信、政策の監視・評価、政策提案など機能を発揮しながら、これまでに「議会改革」に取り組んでまいります。



編集後記

5月臨時会で編集委員の変更がありました。(3面「議会の構成」参照)

前号から紙面は色刷りになりましたが、引き続き議会の活動がよくわかり、住民の皆さんに役立つ紙面になるよう努力していきます。

本町議会では、「議会基本条例」を制定するなど、開かれた議会を目指しています。

皆さんのご意見も紙面に反映したいと考えています。

よろしく願いたします。